

IT 革命時代の情報家電の主演 - デジタルテレビ

Digital Television, the Leading Home Information Platform
in the IT Revolution Age甲斐 実
KAI Minoru

BS(放送衛星)デジタル放送が、いよいよ今年12月からスタートする。“デジタルハイビジョン放送方式”に基づいた高品位、高画質のテレビ(TV)放送が、衛星放送波によって家庭に送られるようになるわけだが、この意義は大変大きく、3年後に控えた地上波デジタル放送の開始、更に10年後には現行アナログ放送のサービス終了へとつながる一連のデジタル化計画、すなわち日本でのTV放送デジタル化の幕が切って落とされることになる。

過去にも放送方式の変革の例はある。1963年のカラーTV放送の開始は、やはり大きなインパクトをユーザーにも受像機メーカーにも与えた。しかし、今回の“デジタル化”は“カラー化”よりもはるかにわれわれの生活に大きな変化をもたらすものと考えられる。BSデジタル放送では高品位の音声・映像のほかに、“データ放送”スロットが用意され、各種の情報サービスが送られる。これは、アナログ放送にはなかったことであり、革新的な新しいサービスが期待できる。

これらのメリットに加えて重要なのは、デジタルTVが家庭内デジタル機器ネットワーク構築の中心的な役割を果たすことが予見されることである。DVD、セットトップボックス、あるいは新たな家庭用デジタル機器が、TVを中心にIEEE1394やBluetoothなどで相互接続された“ホームネットワーク”を構成し、更に、情報ネットワークとつながることにより、より高度な娯楽と情報サービスを取り込み、従来にない利便性をもたらすことが期待できる。TVという概念もサービスとともに進化し、まさにIT(情報技術)革命時代にふさわしいものへと変ぼうを遂げていくであろう。

このような新たな時代を開くデジタルTVの実現に向けて、当社は放送方式・運用技術策定のための電波産業会(ARIB)に積極的に参画してきた。また、多くの技術者の努力により、今年9月のシドニーオリンピックの試験放送に合わせ、ハイビジョンテレビとチューナを開発し、市場に送り出す準備を進めてきた。これには、大規模LSIシステムの開発、TVでは過去に例のない大規模ソフトウェアの開発、及び高密度の基板実装技術など、当社のデジタル技術の成果が結集されている。

新しいデジタル情報家電時代への第一歩に対し、今後も暖かい応援をいただきたい。